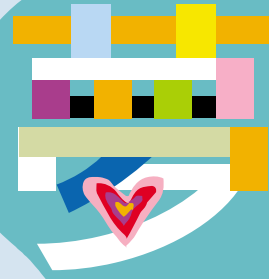


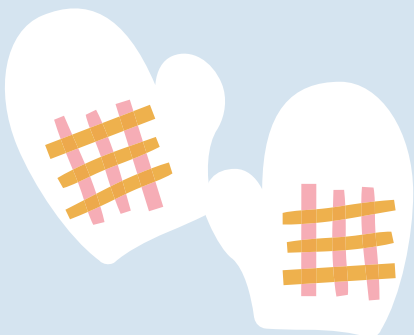
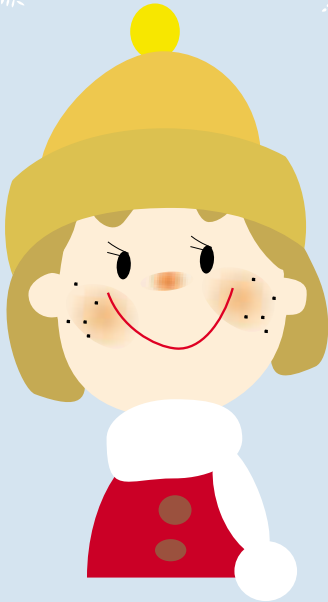
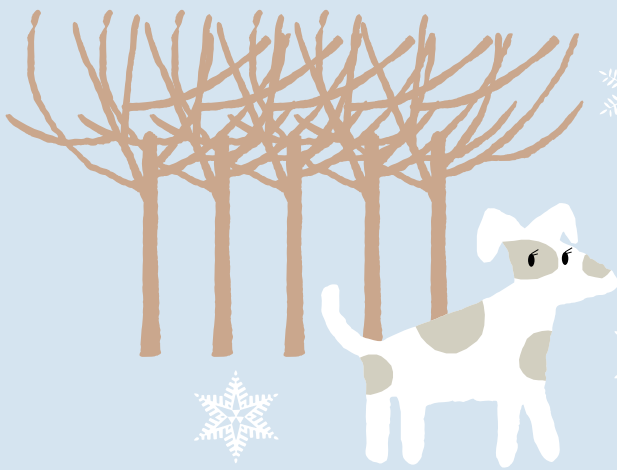
山口県教育広報誌

ふれあい



2002 14号

通信



特集：いっしょに考えましょう
—いじめ・不登校の解決に向けて—

現在、近所に遊び友達が少ないことや、
社会生活においての人とのふれあいやコミュニケーションの機会が減るなど、
子どもたちを取り巻く教育環境が大きく変化している中、
いじめや不登校が深刻化しています。

こうした問題を解決するためには、学校だけではなく、
学校と家庭や地域社会、そして関係機関が連携して取り組む必要があります。

今回の特集では、

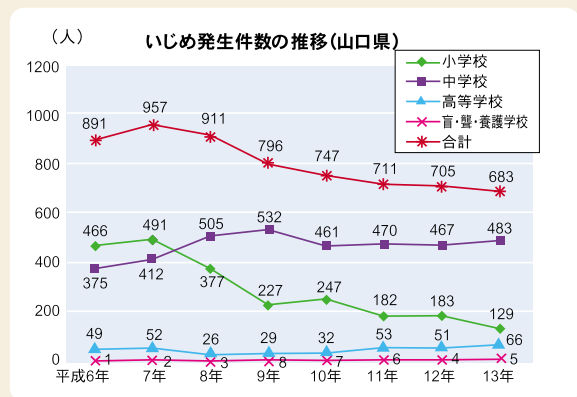
心に不安を抱えた子どもたちが、
様々な人たちの協力で元気をとりもどした事例や、
県の取組みについてご紹介します。



いじめ、不登校の現状は どうなっているのでしょうか

● いじめ

本県の小・中・高等学校等における、平成13年度のいじめ発生件数は、683件で、平成7年をピークに6年連続で減少傾向にあります。いじめが陰湿化、潜在化している怖れもあります。



平成13年度山口県教育委員会調べ

平成13年度に発生したいじめ(683件)のうち、577件(84.5%)が年度内に解消しています。

● 発見のきっかけ

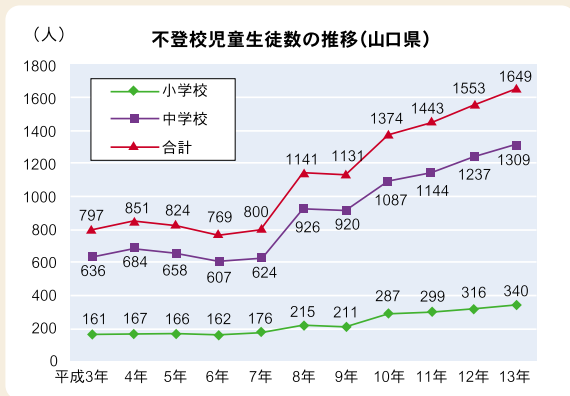
いじめられた児童生徒からの訴えが一番多く、保護者からの訴え、担任教師の発見の順になっている。

いじめ早期発見のチェックポイント

- 口数が少なくなり、部屋に閉じこもりがちになる。
- 登校前に突然体調が悪くなり、遅刻や欠席が増える。
- 学用品などがなくなったり、壊されたりする。
- 学校や友達のことを話したくない。
- 理由のはっきりしない傷やあざがある。

● 不登校

本県の小・中学校における平成13年度の不登校児童生徒数は、1,649人(国立・私立を除く)で、10年前の倍以上になっており、調査開始以来最多となりました。



平成13年度山口県教育委員会調べ

平成13年度の不登校児童生徒(1,649人)のうち795人(48.2%)に、好ましい変化(登校するなど)がみられるようになりました。

● 不登校状態となったきっかけ

小学校では、家庭生活での親子関係をめぐるもの、中学校では学校生活での友人関係をめぐるものも多い。

不登校のサイン

- 起床時に、頭痛や腹痛などの身体の不調を訴える。
- 元気がなくなる、表情が暗くなる、笑顔が消える。
- 外出が減り、室内での一人遊びが多くなる。
- 友達との交流が減ってくる。
- 無気力でぼんやりしていることが多くなる。

の解決に向けて～

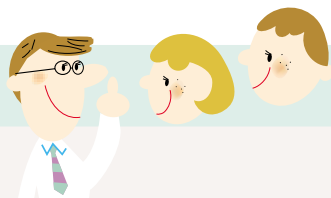
子どもたちは、どのように元気をとりもどしたのでしょうか



いじめ・不登校の原因・背景は、それぞれのケースにより様々ですが、一般的には、学校、家庭、地域社会のそれぞれの要因が複雑に絡み合って発生していると考えられます。

したがって、これらの問題解決のためには、児童生徒が心にゆとりをもって毎日を送ることができるように、学校、家庭、地域社会が連携しながらサポートしていくことが大切です。ここでは、周りのサポートによって元気をとりもどしていった子どもたちの事例を紹介します。

● いじめ



先生への相談

同級生3人から嫌がらせなどのいじめを受けていた。いじめに困っていた本人は、**学校の教育相談担当の先生に思い切って相談した。**教育相談の先生から「本当につらかったでしょうね。でも心配しないでいいのよ、みんなでいじめは必ずなくなるようにするから。」と励ましてもらった。

その後、**学校のいろいろな先生にかかわってもらって、いじめは解消し、楽しい学校生活を送ることができるようになった。**

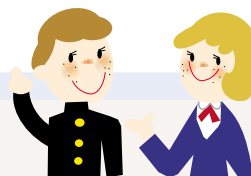
相談窓口への相談



上級生数人から金銭の強要などのいじめを受けていた生徒を、**級友数人が見るに見かねて、県教委の相談窓口**に電話した。

教育委員会は学校や児童相談所と連携して**本人の支援に取り組んだ。**学校はいじめられた本人やいじめていた生徒から事実関係を確認するとともに、関係機関も入って**保護者との話し合いの機会**を何回ももった結果、いじめていた生徒も深く反省し、いじめは解消していった。

友達の励まし



中学校2学年2学期の始業式の日から、突然登校しなくなった。仲良しの友人から、身体に関することを言われたのが引き金ではないかと思われた。

しかし、よくしてくれる親友や担任・**教育相談担当の先生の熱心な働きかけ**により、本人も少しずつ登校しようと思っていた矢先、二人の友人が、朝、誘いに来てくれて、登校しやすい状況ができ自分で登校するようになった。

● 不登校

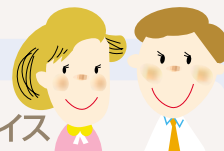


家族のサポート

小学校6年生で転校したことがきっかけで、朝起きるのを渋るようになった。焦る母親は、最初の頃は「なぜ、学校に行かないのか。」と問いただしていたが、**子どもの今の姿を受け入れることが大切であると気づき、また、かかわりの少なかった父親も、家庭で子どもの相手をするなど両親に変化が見られるようになった。**

さらに、**学級担任と養護教諭が、本人だけでなく、母親のつらい気持ちを十分受け止めるよう配慮して家庭訪問を続け、人間関係づくりに努めた。**やがて、母親に付き添われながらも保健室に毎日行くようになった。

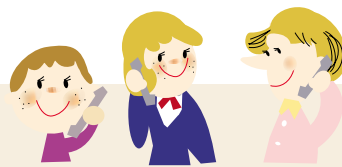
* スクールカウンセラーのアドバイス



中学校2年生になり、学校を休むようになった。母親が休む理由を聞くと「学校へ行きたいけれど、行けない。その理由はわからない。」と答えた。

欠席が続いていたが、**母親へのカウンセリングを行ったカウンセラーからの「本人の振る舞いや表面のわがまは、本人からの『心のサイン』でないか。」との助言**により、学級担任や両親が熱心にかかわりを持ち、相談室登校ができるようになった。

現在では、授業によっては教室に入れるようになってきている。



県もいじめ・不登校の解決に向けて取り組んでいます

県や学校では、いじめ・不登校の予防、解決のため子どもたちが自ら悩みを相談し、解決できることや、周囲が思いやりをもって子どもたちを育てることができる環境・体制づくりを進めています。

※このほかにも、生命を大切に作る心、他人を思いやる心など豊かな人間性を育てる「心の教育」のかなめとなる道徳教育の充実に努めています。

●まず学校へご相談ください。

学校では、学級担任を中心に、定期的な教育相談を実施したり、専門の相談機関との連携を図ったりしながら、いつでも相談できる環境や体制づくりに努めています。

教員とは違った立場や視点から、^{*}いろいろな相談にのってもらえる、スクールカウンセラーや心の教室相談員が配置されている学校もありますので、まずは相談してください。

スクールカウンセラーからのメッセージ



山口県臨床心理士会
(スクールカウンセラー担当)
こうだ あきら
高田 晃 先生

体に痛みがあるときお医者さんに行くように、心に悩みがあるときは決して一人で悩まず、気軽にカウンセラーに声をかけてください。私たちスクールカウンセラーは、みなさんのすぐ側にいる心の専門家(臨床心理士)として、一人一人がいきいきとした学校生活が送れるよう応援しています。

●相談窓口もご利用ください。

県では、子どもの悩みに関して、助言や支援ができるよう次に紹介するものをはじめとして、様々な相談窓口を開設しています。また各市町村教育委員会にも相談窓口等が設置してありますので、あなたも一人で悩まないで、まず相談してみてください。

教育事務所への相談

・教育相談専門指導主事がいじめ・不登校について親身に相談に応じます。

岩国教育事務所 電話0827(29)1570
柳井教育事務所 電話0820(23)3381
徳山教育事務所 電話0834(21)3595
防府教育事務所 電話0835(22)1072
厚狭教育事務所 電話0836(72)0321
下関教育事務所 電話0832(23)6278
萩 教育事務所 電話0838(22)0590

□受付 月～金 8:30～17:15

ふれあいテレホン 県教育研修所ふれあい教育センター

・いじめ、不登校、家庭教育、学業・進路、発達の遅れ等に関する相談。

□電話 083(987)1240・1241
083(987)1202 (いじめ相談専用電話)

□FAX 083(987)1258

□受付 月～金 9:00～17:00 (時間外留守番電話対応)

ヤングホットライン(子ども専用ふれあいテレホン)教育庁指導課

・相談対象を子ども(18歳未満)だけとした、子どもの悩み全般に関する相談。

□電話 083(920)1777

□受付 月・水 17:00～22:00 (時間外留守番電話対応)

土 13:00～22:00 (時間外留守番電話対応)

いじめ110番

教育庁指導課

・子どものいじめに関する相談。

□電話 083(923)2264

□受付 月～金 8:30～17:15 (時間外留守番電話対応)

おやこほっとライン

県中央児童相談所

・養育上の悩みや非行・虐待など児童の福祉に関する相談

□電話 083(932)3939

□受付 月～金 8:30～20:00

土・日・祝日 8:30～17:15

(年末年始を除く)

心の健康電話相談

県精神保健福祉センター

・学校生活での悩み(いじめ、不登校、ひきこもり)、人間関係での悩み、家族関係や子育ての不安などに関する相談。

□電話 0836(58)5570

□受付 月～金 9:00～11:30

13:00～16:30

ヤングテレホンやまぐち

県警察本部少年課

・子どもに関する非行・いじめ・虐待・犯罪被害などに関する相談

□電話・FAX 083(925)5150

□電話のみ 0120(49)5150 (携帯電話・PHSは不可)

□受付 月～金 8:30～17:15

(休日及び時間外は警察本部当直対応)

すくすくテレホン

教育庁社会教育課

・乳幼児の子育てに関する悩みや不安・家庭教育上の諸問題に関する相談。

□電話 083(933)4888

□受付 月～金 9:00～17:00 (時間外留守番電話対応)



ひ と 言

「子どもの気持ちを感じ取るアンテナを。」



山口県不登校を考える親の会ネットワーク

代表

高田 ヒロコさん
(たかた ひろこ)



「不登校を考える親の会」は、県内に6つほどあり、不登校などの子どもさんを持った保護者の方々が集まって、月に数回定例会を開いています。そこではお互いが胸の内を語り合い、いろんな体験を聞くことで、子どもたち一人一人とどう向き合っていくかを学び、子どもの心をより深く理解するための活動を行っています。

不登校になった子どもたちの多くは、いじめられた体験を持っており心に深い傷を負っています。人格否定された傷が癒され、回復(かいふく)するまでにはとても長い時間がかかります。そんな子どもの辛い気持ちを理解し、心身共に休める居場所を保証していくのは親の役割です。

「不登校をせざるを得なかった自分の気持ち

が理解された時、自分はこれで良かったのだと思えるようになった。」そんな言葉を残して子どもたちは親の元を巣立っていきました。ジッと動か(け)ない子どもも、繭(まゆ)の中のさなぎのように、殻で自分の心身を守りながらその中でいろいろ考え成長しているのです。目の前の子どもの気持ちをありのままに受け止めることが大切です。気持ちを受け止めるということはとても難しいことですが、人様の話に誠実に耳を傾け、聞かせてもらうという姿勢の中で、子どもの発する信号をキャッチできるアンテナの持ち主になれるのです。子どもは自分のことを大切に思ってくれる大人に対しては、心を開いてくれます。大人の姿勢が問われているのではないのでしょうか。

折り線

7 5 3 8 7 9 0



料金受取人払

山口中央局承認

6152

差出有効期間
平成15年3月
31日まで



7

7 5 3 8 7 9 0

「ふれあい夢通信」編集部 行

山口市滝町一番二号
山口県教育庁教育企画室内

折り線

キトリ

保護者や地域の方のご意見をお待ちしております!

お寄せいただいたご意見は、今後の「ふれあい夢通信」の内容充実に役立たせていただきます。

■ 投稿方法

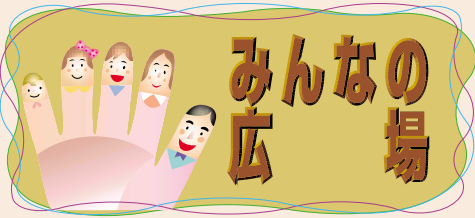
- この投稿用紙を切り取ってご利用ください。
- その他、ハガキ・封書、FAX、Eメールでご投稿いただいても結構です。
 1. ハガキ・封書
〒753-8501 山口市滝町1-1
山口県教育庁教育企画室内
「ふれあい夢通信」編集部
 2. FAX 083-933-4539
 3. Eメール
a501001@pref.yamaguchi.jp
- メ切り 平成15年2月28日

■ お問い合わせ先

山口県教育庁教育企画室
(電話)083-933-4531

折り線

折り線



今回の特集テーマ「いじめ・不登校」について
たくさんのご意見ありがとうございました。
いただいたご意見の中から、
いくつかをご紹介します。



一番心強かったこと

中学生と小学生をもつ母親です。三人の子供達が、上から順に学校に行かなくなり、下から順にみんな復帰、今は元気に学校に行っています。振り返ってみて一番心強かったことは、担任の先生と一緒に悩み、「頑張りましょう」とその期間中励ましてくださったことと、クラスの子供達が「休んでいてもクラスメート」といつも待っていてくれたことでした。

ただ学習の面では、家庭ではほとんど何もできず、中学生の子は今とても苦労しています。不登校の子供の学習の手だてが積極的にできれば・・・と感じています。
(小学生と中学生の母 35歳)

※「みんなの広場」では、皆様からお寄せいただいたご意見を紹介させていただきます。
紙面の都合上、いただいたすべてのご意見を掲載することができない場合もあることを、ご了承ください。

いじめた子の親にも連絡を

学校の中でのいじめは、先生方、生徒、いじめを受けた生徒、その親は分かっている、いじめた子の親までには連絡が届きにくい。親としては、自分の子供がやっている事を知らないの一番恥ずかしいことなので、小さな事柄でも、ぜひとも知らせたい。
(中学生の母 45歳)

いじめられる子、いじめる子へ

いじめられて、くやしくて泣いて、悲しくて泣いて、もう自分が嫌になったりしたら、今の気持ちを閉じこめないで相談してほしい。助けてくれる人は絶対近くにいるよ。
いじめる子は、心のどこかでいじめていると自分で分かっているはず。こんな自分、自分がだめにしているんだから、もっと大切に思えばいいんじゃない。いつでも変わるよ。心の中に変わりたい自分があるよ。
(小学生の母 36歳)

のりしろ
折り線

次回の特集テーマは「開かれた学校づくり」です。

学校では、施設開放だけでなく、教育活動や学校生活などの様子を家庭や地域に積極的に提供し、また地域の方々の優れた知識や技能を学校教育に活かすなど、地域に「開かれた学校づくり」を進めています。
次回のふれあい夢通信では、「開かれた学校づくり」を特集で取り上げたいと考えております。
このテーマに対する皆様のご意見をお待ちしております。

1. 次回の特集テーマについてのご意見を自由にお書きください。

2. 今回の「ふれあい夢通信」はいかがでしたか。(1.よかった 2.ふつう 3.よくなかったに○をつけてください。)

ア. 特 集 イ. ひ と 言 ウ. ふれあい交差点 エ. ペンちゃん オ. ふれあい掲示板

1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3

3. 今後、特集のテーマとしてどんなことを取り上げてほしいですか。

その理由:

※差し支えなければご記入ください。

ご住所:〒

お名前

年齢

歳

性別

男 女

お子様の年齢

歳

ご協力ありがとうございました。

のりしろ
折り線

のりしろ
折り線

ふれあい交差点

世界で一冊の絵本づくり

豊浦町立室津幼稚園

豊浦町立室津幼稚園では、毎年親子で絵本づくりをしています。絵本づくりを通して、小さい頃から絵本に親しむ心や、親子のふれあいを大切にしています。親子で、生まれた時のこと、家族のこと、好きな食べ物、大きくなったらなど、身近なテーマについて話しながら、絵を描いたり、色紙を貼ったりして自由に表現します。

出来上がった絵本をみんなの前でドキドキ、ワクワクしながら発表し、最後には、「嬉しかった」「楽しかった」「宝物だよ」とみんなの顔にもおもしろい笑顔

がこぼれます。

また来年つくる絵本の中には、きっと子どもたちの成長の姿も映しだされることでしょう。



どんなお話にしようかなあ。

ハートタッチデー

新南陽市立福川小学校

新南陽市立福川小学校では、4、5年生の希望児童が放課後、他家(1～6年生の受け入れ家庭)に下校し、宿泊して、翌朝そこから登校する「ハートタッチデー」を行い、昨年度からすでに5回目を迎えました。他家で食事や手伝い、団らんを通して、ハートがふれ合うことで、自分を見つめ、思いやりや礼儀、感謝の心を学びます。次の朝、変身した子どもが、「先生、楽しかったよ」と報告にきます。関係の保護者からも「新しい風をもたらした」など、大好評です。

この活動が、「子どもは地域の宝だ」の旗のもと、学校と地域が一体となるきっかけになればと思います。



ぼくも今晚は〇〇家の一員だよ。

本県初の県立中学校を開校し、中高一貫教育を開始 山口県立高森みどり中学校

中高一貫教育校では、高校入試の影響を受けない学校生活の中で継続的な教育活動を展開し、確かな学力を身につけることができます。

来々4月に開校し、県立高森高校との間で中高一貫教育を実施する高森みどり中学校は、特色ある教育活動を通し、「ゆとりを活用し、多様な交流を創造する学校づくり」に取り組み、志と広い視野を持ち、学び続ける生徒の育成を目指します。

入学者の募集については、以下のとおりです。

- 応募資格 平成15年3月小学校等卒業見込みの方(県内どこからでも志願できます。)
- 出願の期間 平成15年1月14日～1月17日
- 選考検査 平成15年1月25日

※出願書類は、高森みどり中学校で配布します。
問い合わせ先/山口県立高森みどり中学校
TEL0827(82)3234
山口県教育庁教職員課
TEL083(933)4554



今、新たな芽吹き～県立高森みどり中学校設置式～

水産高校の開放講座はおもしろい!

山口県立水産高等学校

山口県立水産高等学校では、生涯学習の推進事業として「学校開放講座」に取り組んでいます。

「手作りウキ入門」や「手作り食品入門」の講座があり、毎年定員を上回るほどの大盛況です。

「手作りウキ」はデザインから、削り、色付け、名前も入れて、自分だけのオリジナルウキを作り、「手作り食品」では、ベーコン、ソーセージ、ちくわ等を原材料から製造していきますが、中には受講後に本格的に機械を購入して家庭で手作りの味を楽しむ方もいらっしゃるようです。

これからも、地域に開かれた水産高校で、ぜひ有意義な休日をお過ごしください。



色付けは慎重に、慎重に……。



山口県教育研修所 (山口市) 電話 083(987)1190
 ●2/6(木)・2/7(金) 「天体観測入門」
 対象/一般(小・中学生は保護者同伴) 定員/各20名 締切/1週間前

山口県立山口図書館 (山口市) (休)毎月曜日
 電話 083(924)2111
 ●1/7(火)～2/27(木) 月間青少年室小展示
 「いじめがテーマの本」

山口県立山口博物館 (山口市) (休)毎月曜日
 電話 083(922)0294
 ●1/31(金)～2/2(日) 木星と土星を見る会
 ●2/4(火)～3/23(日) スポット展示「博物館がとらえた
 戦前～教育博物館所蔵写真から」
 ●2/21(金)～2/23(日) 冬の星雲・星団を見る会

山口県立美術館 (山口市) 電話 083(925)7788
 ●1/11(土)・1/18(土) マン・レイ写真展ワークショップ
 「光とあそぼう」
 対象/小中学生と保護者 定員/各20組(ハガキ先着順)

山口県立萩美術館・浦上記念館 (萩市) (休)毎月曜日
 (ただし月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)、12/24～1/2
 電話 0838(24)2400
 ●12/13(金)～4/6(日) 華やかな明代陶磁

山口県文書館 (山口市) (休)毎日曜日、1/13
 電話 083(924)2116
 ●1/6(月)～1/30(木) 明治期の絵ハガキ年賀状

石城山青少年宿泊訓練所 (大和町)
 電話 0820(48)2108
 ●2/22(土)～2/23(日) 熱血!石城塾～伝説の技に挑戦～
 (手打ちそばと手作りおもちゃ)
 対象/家族・グループ 定員/30名 締切/2/14
 ●3/9(日) アートなひととき おしゃれ曜日
 (ツールペイントと小物入れ作り)
 対象/家族・グループ 定員/30名 締切/2/28

秋吉台青少年宿泊訓練所 (秋芳町)
 電話 0837(62)0106
 ●3/8(土)～3/9(日) 洞くつ探検こうもり見つけ隊
 (洞くつ探検)
 対象/小中学生とその家族 定員/40名 締切/2/27

大島青年の家 (大島町) 電話 0820(76)0913
 ●1/25(土)～1/26(日) ゴククン!大島海の幸に舌鼓
 (石風呂体験や鯛飯作り)
 対象/親子(グループ可) 定員/50名 締切/1/10

光青年の家 (光市) 電話 0833(72)5512
 ●1/18(土)・1/25(土)・2/8(土)・2/15(土)
 大空に舞う紙飛行機と凧作り(4回シリーズ)
 対象/小学生 定員/50名 締切/1/8
 ●2/22(土)～2/23(日) 日本の伝統文化を学ぼう
 (茶道、俳句、絵手紙、陶芸)
 対象/児童・生徒とその家族及び個人 定員/50名 締切/2/12

油谷青年の家 (油谷町) 電話 0837(32)1000
 ●1/25(土)～1/26(日) 遊ぼうよ 英語で
 (ALTとの交流)
 対象/子どもとその家族 定員/50名 締切/1/11
 ●3/8(土)～3/9(日) つくって満足 食べて満足
 (魚釣り、ちくわ作り)
 対象/子どもとその家族 定員/50名 締切/2/22

萩青年の家 (萩市) 電話 0838(22)4730
 ●2/22(土)～2/23(日) 体験!幕末ロマン～萩ガラス～
 対象/家族及び個人 定員/30人 締切/1/17～2/7
 ●3/9(日) にこにこ元気ランド
 ～大きくなあれジャガイモさん～
 対象/4歳・5歳児とその家族 定員/12家族 締切/1/28～2/19

秋吉台少年自然の家 (美東町) 電話 08396(2)0581
 ●1/25(土)～1/26(日) 冬の星空教室～流れ星を
 見つけよう～(うどんづくり、星空観察、洞窟探検)
 対象/小学4年生～6年生 定員/30名 締切/1/9
 ●2/16(日) 春を呼べ!秋吉台山焼き体験
 (山焼きを見学、体験)
 対象/家族 定員/100名 ※希望により前日泊可

十種ヶ峰青少年野外活動センター (阿東町)
 電話 08395(8)0033
 ●1/11(土)～1/12(日) 冬の十種ヶ峰に挑戦(スキー)
 対象/小学5年生～中学生 定員/30名 締切/12/27
 ●1/25(土)～1/26(日) 親子でつくる冬物語
 (親子でスキー)
 対象/子どもとその家族 定員/80名 締切/1/18
 ●2/8(土)～2/9(日) ジョイフルスキー(初心者歓迎)
 対象/小学4年生以上およびその家族 定員/80名 締切/1/25

ふれあいパーク (由宇町) 電話 0827(63)1513
 ●1/25(土)～1/26(日) 木工の集い
 対象/木工に興味のある方・家族 定員/40名 締切/12/27
 ●3/1(土)～3/2(日) 陶芸教室
 対象/陶芸に興味のある方・家族 定員/30名 締切/2/1～2/5

※詳しい内容については、各施設にお問い合わせください。

「やまぐち教育情報ステーション」がオープンしました!



インターネット上で、学校情報・行政情報・募集案内・イベント情報・研究発表など、山口県のさまざまな教育に関する情報が得られるWebページがオープンしました。

URLはこちら

<http://www.yasn21.jp/e-joho/>

山口県教育委員会のトップ画面からでもアクセスできます。
 【お問合せ】山口県教育庁教育企画室

ふれあい通信
 編集部より

今回の特集はいかがだったでしょうか。
 「いじめ・不登校」は、編集部にとっても「重い」テーマで、どういう切り口で書くのがよいか、正直、最初は迷いました。
 編集部の中で議論する中で、本当に悩んで困っている、そして、子どもたちに元気になってもらうためにがんばっている保護者やまわりの方々へ「エール」を送ろう、という意見が出ました。

そこで、今回は、自分一人ですみず、まわりの人や相談窓口などに相談することによって、子どもたちが立ち直っていった事例の紹介を、特集の中心にしています。
 今回の特集が皆様の参考になることを願っています。(か)

山口県教育庁教育企画室
 住所 〒753-8501 山口市滝町1-1
 電話 083-933-4531 FAX 083-933-4539
 Eメール a501001@pref.yamaguchi.jp